

令和8年度 後期開講科目と募集人員について

講座名			
数学Ⅰ (b)	午前	月 前半 水 後半	数学Ⅰ (b)では、「図形と計量」「集合と命題」「データの分析」を学びます。これらも高校数学で基本となる事項で、この先にある数学の基礎となる領域になります。必履修科目「数学Ⅰ〈標準3単位〉」の履修が認められるには、「数学Ⅰ (a)〈2単位〉」「数学Ⅰ (b)〈2単位〉」の両方の履修が認められる必要があります。
	午後		
	夜間①	火 前半 木 後半	
夜間②			
数学A	午前	火 後半 木 前半	数学Aでは、「場合の数と確率」「図形の性質」「数学と人間の活動」について学びます。これらは数学の基礎事項です。数学Ⅰの履修後か、同時に履修してください。
	夜間		
科学と人間生活	午前	火 前半 木 後半	理科の4領域(物理、化学、生物、地学)について、日常生活に結びつきの強い分野を中心にやさしく学べる科目です。
	午後		
	夜間		
化学基礎	夜間	火 後半 木 前半	物質を原子、イオン、分子といった粒子の集まりと捉え、様々な物質の変化について実験を交えながら学習します。物質を元素記号や化学式で表したり、物質の変化を化学反応式で表したり、原子量、分子量、物質質量、濃度などの計算も行います。また、化学が日常生活や人類の発展にどう関わっているのかについても学びます。
生物基礎	午前	火 前半 木 後半	細胞、遺伝子、免疫、生態系など生命のしくみや生物どうしの関わりについて、視聴覚教材や実験なども交えながら学習します。この科目では、生物の基礎的な内容を学習することができます。
	夜間		
地学基礎	午前	火 後半 木 前半	地球や地球を取り巻く環境に関わり、現在の地球の構造や活動および惑星としての地球の変動の様子を、視聴覚教材や実験なども交えながら学習し、自然環境の保全の重要性について考えます。
	夜間		
物理 (Ⅰ)	午前	火 後半 木 前半	理論には、数学Ⅱ・Ⅲで学ぶ「三角関数」「微分積分」「極限」、数学B・Cで学ぶ「数列」「ベクトル」を使用するためこれらを履修している前提で授業が進みます。 力と運動(物理基礎で扱わない運動)、熱(気体分子の運動)について、物理法則を古典的理論(物理量の数学的表記と演算)と探究(仮説を立て自ら検証する)から学びます。探究活動は、ペア／グループ活動、アウトプット(レポート、発表、質疑等)があります。 ※ポートフォリオ(内容、課題の進捗、実験結果、考えたことなどをまとめていく冊子)を作成します。 ※物理現象の概念的理解を目標としています。その確認のために
	開講曜日に対応する 開講時間		午前前半 1・2校時 8:35～10:05 午前後半 3・4校時 10:25～11:55 午後前半 5・6校時 13:30～15:00 午後後半 7・8校時 15:20～16:50 夜間前半 9・10校時 17:50～19:20 夜間後半 11・12校時 19:40～21:10

※ 開講科目に(a)や(Ⅰ)と付いた科目は(a)と(b)もしくは(Ⅰ)と(Ⅱ)を合わせて「科目名」の履修・修得になります。

各講座募集人員は若干名となりなす。